

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	50	—	事業名	杵ヶ池公園管理事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	-----------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める	款	9	教育費
		施策の進め方	1	スポーツ活動の推進	項	5	保健体育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	2	体育館費
		政策分類	-		大事業	4	杵ヶ池公園管理事業
	その他(関係法令、要綱等)		都市公園法、長久手市都市公園条例				
事業開始の背景、経緯等		杵ヶ池公園の適正な管理を行うことで、一般市民に公園に親しみを持って利用してもらう場を提供する。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 杵ヶ池公園の適正な維持管理					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が杵ヶ池公園に親しみを持って利用してもらう環境を整備することを目的とする。					
	事業を構成する事務事業	① 杵ヶ池公園管理事業	拡充	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		-	104,797	41,387
決算					-	98,793	42,563	
人件費(B)	千円	決算		-	3,255	2,770		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		-	102,048	45,333		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 施設不良による事故件数	件	目標	-	-	-	0	0
			実績	-	-	-	0	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 施設不良による事故件数を0件とし、公園の適正な維持管理に努める。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 全ての近隣市において実施している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成29年度において、施設不良による事故はなく、目標を達成することができた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 昭和62年に整備したもので公園施設が老朽化しており、順次適切な更新が必要である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 公園の適切な維持管理のため、老朽化している公園施設の更新を順次行っていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 公園の範囲が広く日常的な管理を適切に行うため、現行の体育施設とは別で管理していく必要がある。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

					事業名	杵ヶ池公園管理事業								
番号	①	事務事業名	杵ヶ池公園管理事業		款	9	項	5	目	2	大事業	4	中事業	1
事務事業の期間		事務事業開始年度			昭和62年度			終了（予定）年度		-				

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)	杵ヶ池公園の適切な管理を行うことで、一般市民に公園に親しみを持って利用してもらう場を提供する。
	意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が杵ヶ池公園に親しみを持って利用してもらう環境整備を行う。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算	-	-	104,797	41,387	119,013
		決算	-	-	98,793	42,563	-
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 杵ヶ池公園改修工事						20,045	千円
② 体育館長寿命化工事実施設計業務委託						9,612	千円
③ 除草等管理委託						9,182	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
施設の不良による事故件数	件	目標	-	-	-	0	0
		実績	-	-	-	0	0
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
公園長寿命化の一連事業として老朽化していた杵ヶ池テニスコート照明をLED化し、適切な維持管理を行った。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

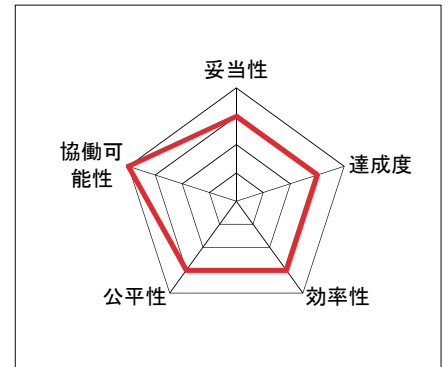
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
昭和62年に整備したものであり、公園施設が老朽化している。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
<ul style="list-style-type: none"> 杵ヶ池公園長寿命化の一連事業として杵ヶ池テニスコートの照明をLED化し、公園利用者の利便性の向上を図った。 平成30年度から平成32年度まで予定している杵ヶ池体育館改修工事の実施設計を行い、改修工事の準備を行った。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
杵ヶ池公園の適切な管理を行うことで、一般市民に公園に親しみを持って利用してもらう場を提供できた。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
昭和62年に整備したものであり、公園施設が老朽化しており、順次適切な更新が必要である。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
昭和62年に整備したものであり、公園施設が老朽化しており、順次適切な更新が必要である。